

○2025 年 アマチュア野球内規（抜粋）

バッタースボックスルール

- （１）打者は打撃姿勢をとった後は、次の場合を除き、少なくとも一方の足をバッタースボックス内に置いていなければならない。この場合は、打者はバッタースボックスを離れてもよいが、`ホームプレート`を囲む土の部分、を出てはならない。
- １）打者が投球に対してバットを振った場合。
 - ２）チェックスイングが塁審にリクエストされた場合。
 - ３）打者が投球を避けてバランスを崩すか、バッタースボックスの外に出ざるを得なかった場合。
 - ４）いずれかのチームのメンバーが`タイム`を要求し認められた場合。
 - ５）守備側のプレーヤーがいずれかの塁で走者に対するプレイを企てた場合。
 - ６）打者がバントをするふりをした場合。
 - ７）暴投または捕逸が発生した場合。
 - ８）投手がボールを受け取った後マウンドの土の部分離れた場合。
 - ９）捕手が守備のためのシグナルを送るためキャッチャースボックスを離れた場合。
- （２）打者は、次の目的で`タイム`が宣告されたときは、バッタースボックスおよび`ホームプレート`を囲む土の部分、を離れることができる。
- １）負傷または負傷の可能性がある場合。
 - ２）プレーヤーの交代
 - ３）いずれかのチームの協議

なお、審判員は、前の打者が塁に出るかまたはアウトになれば、速やかにバッタースボックスに入るよう次打者に促さねばならない。

ペナルティ（１）・（２）

打者が意図的にバッタースボックスを離れてプレイを遅らせ、かつ（１）の１）～９）の例外規定に該当しない場合、または、打者が意図的に`ホームプレート`を囲む土の部分、を離れてプレイを遅らせ、かつ（２）の１）～３）の例外規定に該当しない場合、球審は、その試合で２度目までの違反に対しては警告を与え、３度目からは投手の投球を待たずにストライクを宣告する。この場合はボールデッドである。

もし打者がバッタースボックスまたは`ホームプレート`を囲む土の部分、の外にとどまり、さらにプレイを遅延させた場合、球審は投手の投球を待たず、再びストライクを宣告する。

なお、球審は、再びストライクを宣告するまでに、打者が正しい姿勢をとるための適宜な時間を認める。（規則 5.04b（４）（Ａ）、同（Ｂ））